

別記様式第3号 変更後の土地改良事業計画の概要

県営新地ため池地区土地改良事業（農用地の保全）

変更計画概要書

1 計画変更の内容

項目	変更前	変更後	増減
地 域	熊本市南区城南町	熊本市南区城南町	-
地 積	5.6ha	5.6ha	- ha
主 要 工 事	ため池整備 N=1 式	ため池整備 N=1 式	-
工事着手及び 完了予定時期	R 3 年度 ～R 6 年度	R 3 年度 ～R 7 年度	1 年
総 事 業 費 (うち事務費)	302,400 千円 (14,400 千円)	501,900 千円 (23,900 千円)	199,500 千円 (9,500 千円)

2 計画変更を必要とする理由

【事業費の変更】

(1) 堤体工（土工）の変更による事業費の増 (63,841 千円の増)

堤体法面について、実施設計時における測量の結果、現況断面が浸食により縮小していたことから、扱い土量が増加した。

(2) 仮設道路の地盤改良（置換）による事業費の増 (31,875 千円の増)

堤内地に設置する仮設道路について、地質調査の結果、軟弱な土砂が想定以上に深く堆積しており、施工機械や運搬車のトラフィカビリティ確保のため、良質土で置換を行う必要が生じた。

(3) 仮囲い工の範囲拡大による増 (13,593 千円の増)

ため池に隣接して県道、農地（ハウス等）があり、地盤改良（石灰処理）施工時の粉塵による周辺への影響等が懸念されることから、施工ヤードを含めた施工範囲の外周に仮囲い工の対策が必要となった。

(4) 測量試験費 (12,251 千円の増)

実施設計の際に追加のボーリングを実施する必要が生じたためことによる増

(5) その他変更に伴う事業費の増(自然増等)

(77,940千円の増)

3 変更後の土地改良事業計画の概要

(1) 事業の目的

本地区は、熊本市南区城南町の鰐瀬に位置し、水稻を中心に花卉等の栽培がおこなわれている。ため池の築造は明治32年とされており、斜樋・底樋等の老朽化や、堤体の浸食及び漏水が著しいなど課題を多く抱えている。

このため、ため池を整備することにより、災害を未然に防止し、ため池下流の流域の農地・農業用施設等の保全、農業生産性の向上・農家経営の安定化を図るものである。

(2) 施行に係る地域の所在、地積及び現況

① 地域の所在 熊本市南区城南町

② 地積

(単位: ha)

市町村名	現況					計画				
	田	畑	山林	その他	計	田	畑	山林	その他	計
熊本市	5.6 (5.6)				5.6 (5.6)	5.6 (5.6)				5.6 (5.6)
計	5.6 (5.6)				5.6 (5.6)	5.6 (5.6)				5.6 (5.6)

上段:変更後 下段:(変更前)

③ 現況

1) 地形

本地区は、熊本市南区城南町の南部に位置し、受益地は県道32号小川嘉島線と県管理河川の浜戸川の間位置している。受益地は、標高35m程度となっている。

2) 水利状況

a. 用水状況

地区の現況用水は、水源をため池に依存し熊本平野南部土地改良区の管理により受益地A=5.6haのかんがいを行っている。

b. 排水状況

地区の現況排水状況は、ため池洪水吐(土水路)により放流している。

3) 道路状況

本地区の中央部を走る県道32号小川嘉島線を基幹とし、地区内の市道や農道が接続している。

4) 営農状況

本地域では、水稻を中心に、かすみそう、小麦の作付けが行われている。

5) 地域環境の状況

本地域周辺において、希少動植物は確認されていない。

(3) 基本計画

① 要旨

本ため池は地区の主要水源であるが、施設が古く、堤体の浸食、施設の能力不足等に起因する災害の発生が懸念されている。

よって、災害を未然に防止し、本地区が安全安心な農業を確立するため、本事業により老朽化したため池(堤体、洪水吐、取水施設等)の改修、整備を行う。

② 業別面積

ため池整備事業 水田 5.6ha

③ 用水量

用水量： 所用用水量 0.047 m³/s

④ 排水量

排水量： 設計洪水量 3.137 m³/s

(4) 工事計画

ため池施設整備(堤体、洪水吐、取水施設等) 1式

(5) 環境との調和への配慮

本事業においては、本地区の環境配慮方針及び地域環境情報会議の意見を考慮し、環境への影響を緩和するよう以下のとおり配慮を行う。

・生態系の配慮について

在来生物やその他保護上重要な野生動植物が発見された場合は、施工区域外に移動させるなどの配慮を行い、必要に応じて環境情報会議を開催する。また、外来生物が確認された際は、拡散防止のため、河川等に流出しないようにする。

・工事施工時における配慮について

施工箇所に隣接して一部養鶏場があるため、低振動、低騒音、排出ガス対策型の施工機械を使用するとともに、影響がないように細心の注意を払う必要がある。また、養鶏場への進入路に隣接していることから、資材運搬等工事車両の通行においては徐行運転に努める。

(6) 換地計画の要領

該当なし

(7) 費用の概算

項目	金額	備考
主要工事費	433,252 千円 (259,000 千円)	上段: 変更後 下段: (変更前)
測量及び試験費	44,178 千円 (28,000 千円)	
用地及び補償費	570 千円 (1,000 千円)	
小計	478,000 千円 (288,000 千円)	
地方事務費	23,900 千円 (14,400 千円)	
総計	501,900 千円 (302,400 千円)	

(8) 事業の効果

区分 \ 項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)
作物生産効果	2,533 千円 (2,606 千円)	－ 千円 (－ 千円)
品質向上効果	－ 千円 (－ 千円)	－ 千円 (－ 千円)
営農経費節減効果	△395 千円 (△350 千円)	－ 千円 (－ 千円)
維持管理費節減効果	△80 千円 (△77 千円)	－ 千円 (－ 千円)
国産作物安定供給効果	698 千円 (356 千円)	－ 千円 (－ 千円)
水源かん養効果	6,454 千円 (5,085 千円)	－ 千円 (－ 千円)
災害防止効果 (農業関係資産)	7,288 千円 (6,865 千円)	－ 千円 (－ 千円)
災害防止効果 (一般資産)	4,876 千円 (3,510 千円)	－ 千円 (－ 千円)
合計	21,374 千円 (17,995 千円)	－ 千円 (－ 千円)

上段: 変更後 下段: (変更前)

総費用（現在価値化）＝当該事業費による費用＋その他の費用
＝460,014千円(251,141千円)＋36,659千円(30,360千円)
＝496,673千円(281,501千円)

総費用総便益比＝総便益額（現在価値化）／総費用（現在価値化）
＝518,095千円(369,772千円)／496,673千円(281,501千円)
＝1.04(1.31) 変更後（変更前）

(9) 地区を数区に分けた場合は、その旨及び理由

該当なし

(10) 他事業との関係

該当なし

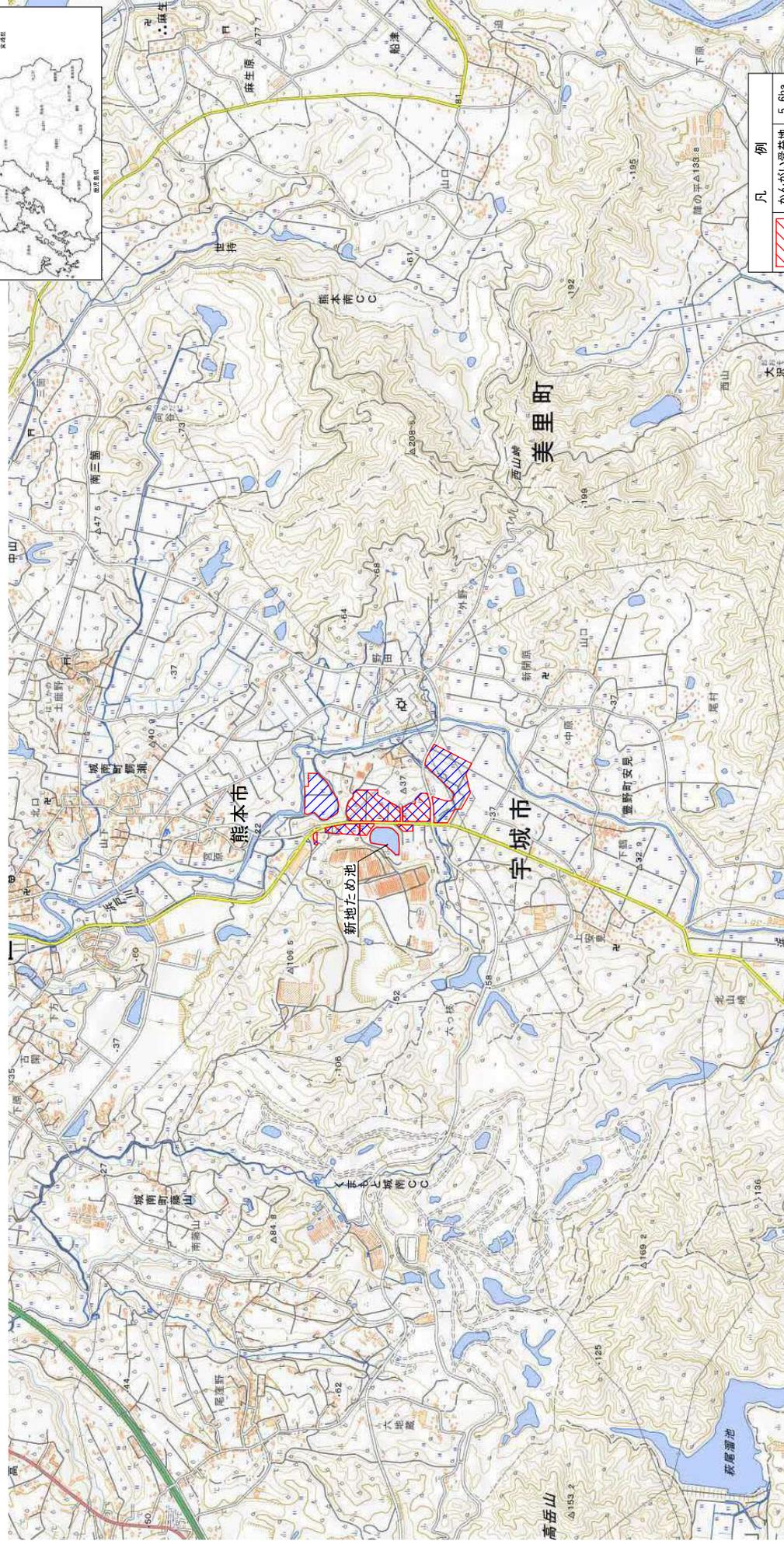
(11) 計画概要図

別紙参照

熊本市：新地ため池地区



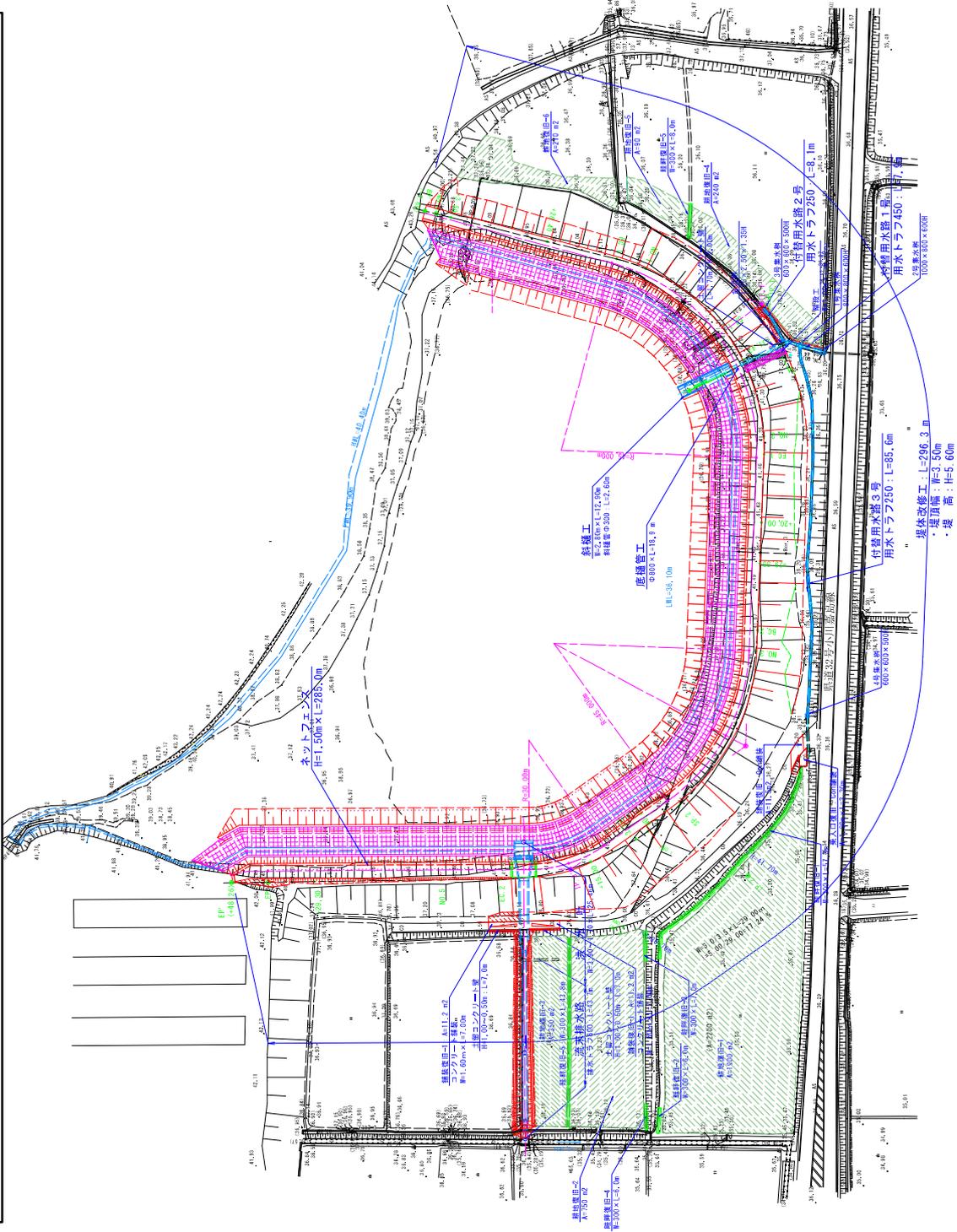
県営新地ため池地区土地改良事業（農用地の保全）



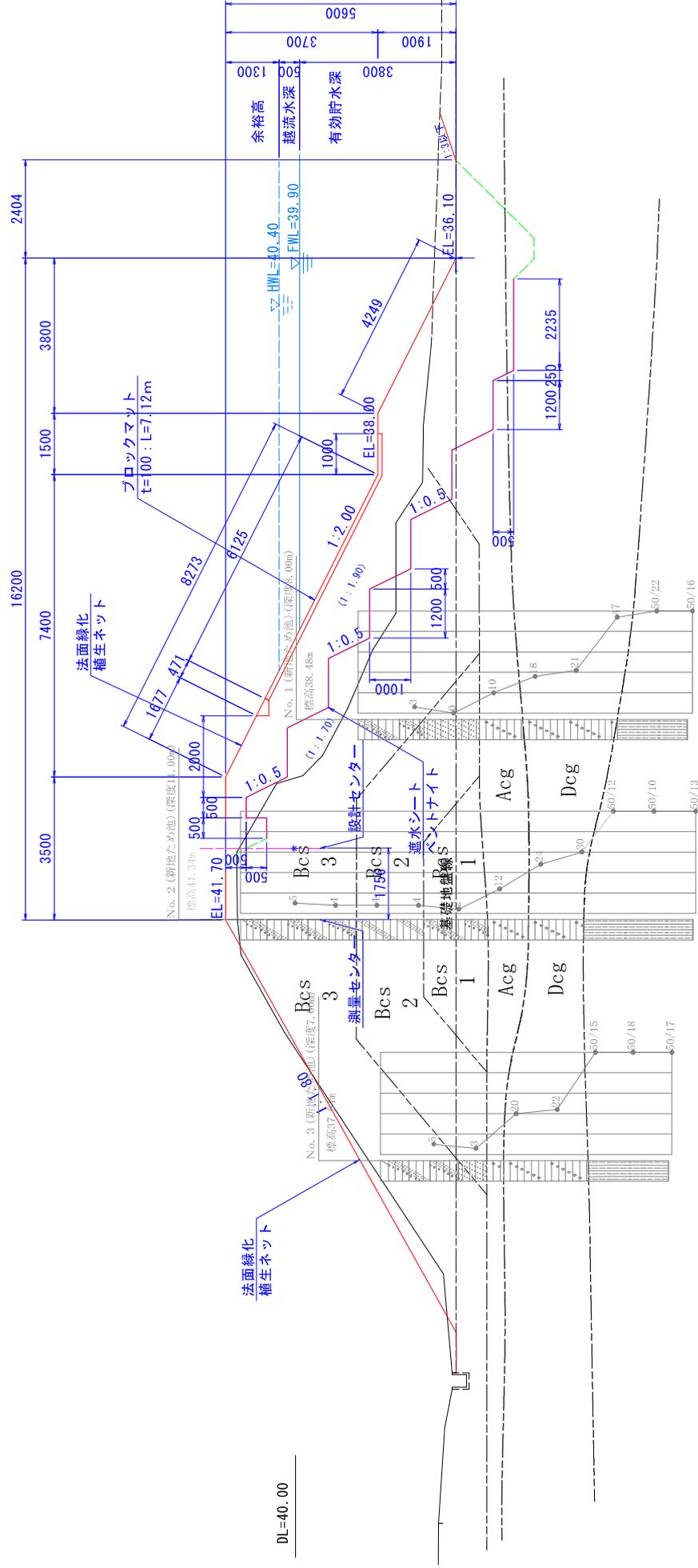
凡例	例
	かんがい受益地 5.6ha
	防災受益地 11.5ha

県営新地ため池地区土地改良事業(農用地の保全)

農業水田面積：A=12,200 m² (田区=60.40m)
 農本水田面積：A=9,350 m² (田区=50.00m)
 中間水田面積：A=2,850 m² (田区=30.00m)
 池田面積：A=620 m² (田区=36.10m)
 池田貯水容量：V=23,900 m³
 池田貯水深：H=4.20 m
 農本貯水容量：V1=40,200 m³



県営新地ため池地区土地改良事業（農用地の保全）



※ボーリング柱状図は「R24年熊本県水田地区（熊本）総合対策農業水利施設整備事業第1号実施 地質調査図」より